

令和元年度 世界自然遺産に関する意見交換会 オガグワの集い 実施報告

1. 開催概要

平成24年度から世界自然遺産登録1周年事業として村民意見交換会が始まり、毎年、村民との意見交換の場を継続的に設置してきた。令和元年度は、各機関が実施している世界自然遺産に関する取組の中でも村民からの関心が高い「オガサワラグワ」にテーマを絞り込んで、村民理解の醸成、共感不足の解消を図るため、「オガグワの集い」と題し実施した。

同会では、オガサワラグワに関する関係団体による講演と関係機関による発表を行うとともに、オガグワマップづくりやオガグワPR作戦を行う「おがぐわミーティング（意見交換）」を行った。

2. 広報

- ・チラシの掲示
- ・村民だよりへの掲載
- ・防災無線
- ・村民参加の森づくりプロジェクト
参加経験者・関係者へのメール

3. 配布物

- ・基礎資料集
- ・森づくり通信
- ・オガグワストラップキット（講演後）



【オガグワストラップの作り方】

オガグワのおはなし

オガサワラグワは、小笠原固有の
大木に生長する桑の木の仲間です。
かつては小笠原の多くの森に生育
していましたが、黒褐色の光沢ある木理
の美しさから、明治期に多く伐採され、
高級家具等に利用されてしまいました。
現在は父島、母島、弟島の限られた
森に生育する**稀**な木となっていますが、
今も残る切り株は、その大きさを、
当時の大木の姿を想像できます。

村では、**オガグワの森**(長谷)と**母島
の森**(静沢)に苗を植え、育てています。
父島の桑ノ木山、母島の桑の木山と
いう地名が残っているように、島民に
愛され小笠原の森のシンボルとして、
オガサワラグワの大木を再び見られる
日が来ることを願いながら、取組を続
けていきます。

令和元年 小笠原村

**オガグワストラップ
の作り方**

① 好みの形のオガグワ
のかけらを選ぶ

② かけらを100番の
紙やすりでみがく

③ ある程度みがいたら、
400番の紙やすりで
さらにみがく

④ さらにみがいたら、
1000番の紙やすりで
光沢が出るまでみがく

⑤ ストラップのひもを
穴に通す。

完成!

【キットの中身】 目の粗さ

- ・紙やすり3種類（100番、400番、1000番）
- ・ストラップのひも

4. 開催結果

母島：令和元年7月28日（日）18：00開場（パネル展示）18：30開始

場所：母島村民会館体育室

参加者：36名（うち関係者16名 村3名、保全センター2名、環境省2名、支庁1名、都R3名、育種センター5名）

父島：令和元年7月30日（火）17：00開場（パネル展示）18：00開始

場所：小笠原世界遺産センター

参加者：62名（うち関係者25名 村3名、保全センター2名、国有林課1名、環境省2名、支庁4名、都R1名、育種センター5名、野生研7名）

【当日進行】

項目	内容
開場・受付	<u>ポスター展示（各機関の取組紹介）</u> 参加者の受付（基礎資料集と意見記入表、森づくり通信を配布）
開会	あいさつ・趣旨説明
都レンジャー発表	都レンジャーによる桑しい話（父島） 母島都レンジャーのオガサワラグワ探訪
質疑応答	簡単な質疑
育種センター発表	オガサワラグワの生息域外保存と野生復帰
質疑応答	簡単な質疑
野生研発表（父島のみ）	クローン苗の馴化・育苗報告 （ミュージカル仕立て）
質疑応答	簡単な質疑
支庁発表	弟島の取組 父島の取組（父島） オガサワラグワの取組について（母島）
保全センター発表	オガサワラグワ ～国有林での取組みと経緯～
環境省発表	オガグワが「種の保存法」の国内希少種に入らなかったワケ
村発表	・オガグワの森／母島の森 これまでとこれから ・意見交換のための話題提供
意見交換	父島／母島おがぐわミーティング
閉会	・まとめ ・オガグワストラップキットを配布

【開催風景】



パネル展示（母島）



オガグワの葉・苗・置物展示



パネル展示（父島）



オガグワの根の特大写真



都レンジャー発表（父島）



おがぐわミーティングの様子

5. 意見交換結果

（１）おがぐわミーティング

おがぐわマップ

⇒山の中、街の中、どこにオガグワ（木、伐り株、材でも
なんでも）がありますか？

⇒そのオガグワの思い出、印象はありますか？

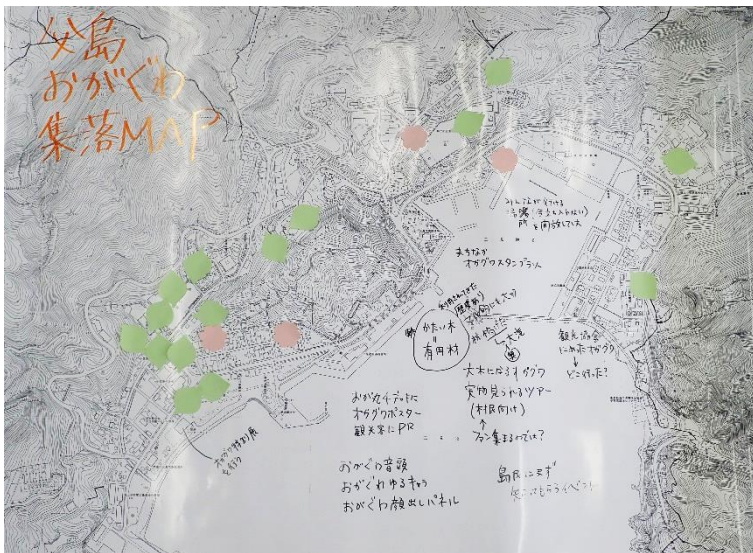
【母島マップ】

- ・元地と営農研近くには由来不明のオガグワが数本ある
3～4年前にオガグワであることが判明
- ・東電の敷地に昔は11本ほどあった
- ・桑の木山には野生株と植栽株あり。夫婦グワが昔あった
- ・石門には切り株多数。指定ルート沿いで見られる箇所も
- ・玉川ダムの管理道路近くに昔あった
- ・オガグワの置物持っている家多い





【父島マップ】



おがぐわPR作戦

⇒島民、内地、来島者に向けてどのようにPRするか「ひろめ方」アイデア募集！

⇒オガグワを守るため、自分たちにできることは何だろう「守り方」アイデア募集！

母島	父島
・木こりの話など、オガグワには文化的側面があり、それを活かせるとよい ・切り株にはオオタニワタリが生えている。この雰囲気をもっとPRできるとよい	・昔観光協会にあったオガグワの置物はどこへ ・明治期に伐り出されたオガグワは内地のどこへ（明治神宮の門は知られている） ・戦前、全てオガグワでできた家が北袋沢にあったが日本軍に徴収されてしまった ・まずは島民に知ってもらうイベント ・オガグワは堅い木のため有用材として利用されてきた歴史がある（杭や橋げた（奥大滝にある）など）。それらが使われている文化も大切 ・今は入れないオガグワの木がある場所を開放してはどうか ・大木の実物が見られる村民向けツアーがあるとファンが集まるのでは ・ビジターセンターでオガグワ特別展 ・まちなかオガグワスタンプラリー ・オガグワのゆるキャラ ・おが丸の4デッキにオガグワパネル